

第10回 佐鳴湖交流会を開催しました

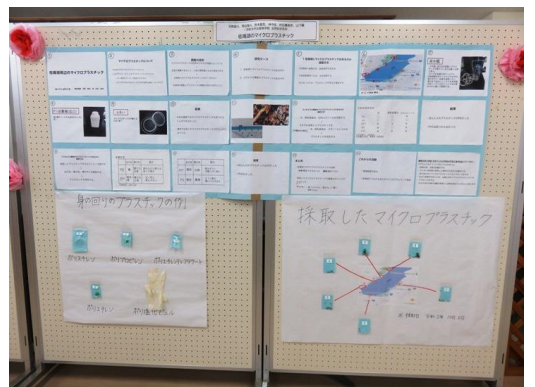
令和3年2月6日(土)～2月14日(日)、佐鳴湖北岸管理棟にて、第10回佐鳴湖交流会を開催しました。(2月6日は展示物を設置)

佐鳴湖交流会は、佐鳴湖で活動する**各団体の交流を図り**、各団体の取組に係る**情報発信の場**や、佐鳴湖の現状や将来について**自由に語り合う場**を設けることで、**市民活動の輪を広げるとともに、佐鳴湖への取組の機運を盛り上げ、市民自らの手で良好な水辺空間の形成を図る**ことを目的として開催しています。

今年は第10回の記念すべき年を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大していることを鑑み、人が集まって開催することを止め、佐鳴湖周辺で活動している個人・団体の取組の展示会を開催しました。

展示会参加者と展示タイトル

①	福島正義	佐鳴湖ゴミ事情 *1年間ゴミ拾いボランティアを通じて 佐鳴湖に流入蓄積しているゴミの実態
②	齋藤愛莉、永井和花奈、青島壮祐、鈴木詩桜、寺田光雅、竹田楓奈、壽山薫 ／佐鳴台中学校	佐鳴台中学校「佐鳴湖学習」
③	米倉佑、戸田三津夫／静岡大学工学部	佐鳴湖の有機汚濁を考える
④	戸田三津夫／静岡大学工学部	リニア、天竜川・佐鳴湖にも影響？
⑤	井上正男／月刊さなるこ新聞デジタル(佐鳴湖地域住民ネットワーク)	佐鳴湖5カ年行政計画スタート
⑥	辻野兼範／佐鳴湖シジミプロジェクト協議会	ヤマトシジミ自然繁殖の成功と佐鳴湖の魚類調査
⑦	小松錦司／佐鳴湖創生会	佐鳴湖の栄光に向けた課題と提言
⑧	成島恵美子／遠江文化財研究会	佐鳴湖周辺の史跡
⑨	山田養司／佐鳴湖創生会ウグイスの里	佐鳴湖のCODはなぜ下がらないか？
⑩	天野誠斗、熊谷海斗、鈴木碧花、林令佳、村石優美奈、山下翼/浜松大平台高校 自然科学系列 ※HP掲載なし	佐鳴湖のマイクロプラスチック





アンケート結果

会場にアンケート用紙を置くほか、Webでもアンケートに回答できるようにしました。また、センサーを設置し来場者数をカウントしました。

開催期間中の来場者数は、9日間で合計459名でした。時間毎の来場者数は、15時以降が多い傾向が見られました。

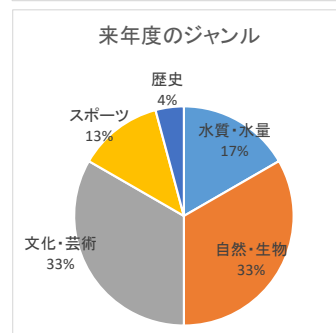
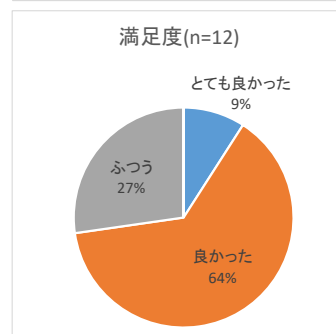
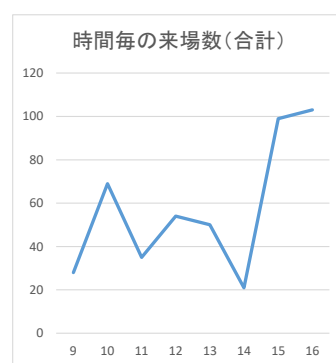
アンケートの回答者数は12名（会場9名、Web3名）で、新型コロナウイルス感染拡大が影響したのか、市外からの参加者は無く、佐鳴湖に近い中区、西区、東区の方が多結果でした。

また初めて佐鳴湖交流会に参加する方が全体の67%と非常に多い結果でした。このことから、会場を佐鳴湖公園に移したことにより、今まで参加したことのない方に展示を見ていただくことができました。

参加者の満足度は、「とても良かった」が9%、「良かった」が64%、「ふつう」が27%で、例年よりも「とても良かった」の割合が低い結果でした。今年は展示のみの開催で、例年の講演会やポスターセッション等が無かったため、やや物足りなさを感じられたと思われます。

自由意見には、「佐鳴湖を通じていろいろなことを学ぶことがとても大事だと思いました。」「さまざまなものを見て、とても参考になりました。」「いろいろな活動を知ることができて良かった。びっくりした。難しいだろうけどマイクロプラスチックをできるだけ出さないようにしたいと思った。」「ごみをひろうのはいいことだと思う。」といった意見がありました。

来年度に展示を希望するジャンルは、今回の水質・水量、自然・生物、歴史に加え、文化・芸術やスポーツも関心が高い結果でした。さらに様々な分野の個人や団体と交流し連携することが必要と考えられます。



3月3日からは、佐鳴湖地域協議会ホームページにも展示データを掲載します。期間中に会場にお越しいただけなかった方は、ぜひご覧ください👁

※ ホームページに掲載する展示データは、本展示会の発表内容と一部異なります。

